

[所 感]

長崎市議会議員 森 幸雄

福州市友好都市提携 30 周年記念公式訪問団の一員として、8 月 23 日から 8 月 27 日の 5 日間、福州市や上海市を訪問、今回の訪問は、福州市と友好都市締結 30 周年を記念しての意義深き佳節を慶ぶとともに、両市が信義を重んじ、これまで長崎市が構築してきた水道事業や水産振興等について、技術や人的交流を通じて福州市の発展に少なからず寄与してきた功績に対し、田上市長への「福州市榮譽市民証」の授与「福州市の鍵」の贈呈などに長崎市への厚い思いが伝わり、感無量で胸が熱くなり、その姿に感動しました。

訪問初日より福州市表敬や歓迎レセプションに出席、翌 24 日には福州市の母なる大河閩江公園での記念植樹、コース別研修では「まちづくり」研修に参加、高速道路の建設、鉄道網の整備の一環として取り組んでいる地下鉄建設などの説明を受け、また、質疑応答など活発な意見交換が行われました。午後から長崎市の観光プロモーションや記念祝賀会に出席、さらなる友好交流を図って参りました。

25 日には「三坊七巷」[明、清時代の街並み] の復元された現地の視察に参加、歴史と伝統を重んじる中国の意気込みを垣間見る思いになりました。

26 日は上海万博の会場、日本館での開催中の「孫文と梅屋庄吉展」の視察に参加、長崎生れの梅屋庄吉は日本に亡命した孫文への援助を続け、中国革命を企図した孫文に多額の資金援助をし、辛亥革命の成就に寄与したと言う梅屋庄吉を通じて、長崎と中国の歴史的繋がりの奥深さに感動を覚えました。

今回の訪中の成果は、長崎市と福州市の崩れざる信義と、さらなる友好の歴史が次世代へ大きく前進したことを確信し、所感といたします。